

2023 年度ひょうご高校大学コンソーシアム 2023

高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて～実施報告書

主催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 日時：2023 年 12 月 11 日（月）13:30～16:30
2. 場所：兵庫国際交流会館 兵庫県神戸市中央区脇浜町 1 丁目 2-8
3. 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校・兵庫県下高等学校教職員
4. 参加者：総計 83 名（対面 72 名、オンライン 11 名）

教職員 54 校 76 名（加盟校 20 校 27 名・高校 34 校 49 名）

【加盟校】20 校 27 名

（内訳）大手前大学/大手前短期大学(3)・関西国際大学(5)・関西学院大学(1)・甲南大学(4)・甲南女子大学(1)・神戸大学(2)・神戸学院大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(1)・神戸女子大学/神戸女子短期大学(2)・神戸親和大学(2)・神戸常盤大学/神戸常盤短期大学部(1)・神戸薬科大学(1)・頌栄短期大学(1)・園田学園女子大学/園田学園女子大学短期大学部(1)・兵庫大学/兵庫大学短期大学部(1)

【高校】34 校 49 名

（内訳）兵庫県立高等学校 28 校：明石北高等学校(4)、明石清水高等学校(2)、明石城西高等学校(1)、明石西高等学校(1)、生野高等学校(1)、伊丹北高等学校(3)、小野高等学校(1)、加古川東高等学校(1)、神崎工業高等学校(1)、香寺高等学校(1)、神戸高等学校(1)、神戸甲北高等学校(1)、篠山産業高等学校(2)、篠山東雲高等学校(1)、佐用高等学校(1)、三田西陵高等学校(1)、飾磨工業高等学校 多部制(1)、青雲高等学校(1)、宝塚高等学校(1)、宝塚北高等学校(3)、須磨友が丘高等学校(1)、西脇工業高等学校(3)、東灘高等学校(1)、姫路東高等学校(1)、姫路飾西高等学校(1)、兵庫県立大学附属高等学校(2)、三木北高等学校(2)、夢野台高等学校(1)

市立・私立高等学校（兵庫県内）6 校：尼崎市立琴ノ浦高等学校(1)、伊丹市立伊丹高等学校(1)、

神戸市立科学技術高等学校(1)、西宮市立西宮高等学校(2)、神戸龍谷高等学校(1)、三田学園中・高等学校(2)

兵庫県教育委員会…1 名

企業…1 社 1 名 株式会社 Brain(1) * 講師

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…5 名

5. 開催趣旨

兵庫県内の高校教育、大学教育の一体的な連携に取り組むべく、2014 年度より県下高等学校と大学コンソーシアムひょうご神戸（県下 38 校の大学・短期大学・高等専門学校が加盟する大学間連携組織）、兵庫県教育委員会が連携して意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催している。

2022 年に高等学校学習指導要領において「総合的な探究の時間」が導入されるにあたり、探究学習と教育活動の課題解決に向けて高校と大学で意見交換を 2 年間、継続開催してきた。

今年度も引き続き「探究学習」を取り上げ、「高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて～」と題し、高校時代の「探究学習」における生徒の学びが、一歩進んだ将来の進路選択、大学進学後の学生生活、人生とキャリアに与える影響・発展の可能性を具体的な事例をもとに意見交換する。

6. プログラム (13:30~16:30)

開会の挨拶：

- ・大学コンソーシアムひょうご神戸 高大連携委員会 委員長校
関西国際大学 高大連携室長・准教授 前田 哲男 先生
- ・兵庫県立学校長協会 進路指導委員会委員長 伊丹北高等学校 校長 千家 弘行 先生
- ・兵庫県教育委員会 高校教育課 主任指導主事 中村 由利 先生

第1部：基調講演「明日への挑戦」講師：株式会社 Brain 代表取締役社長 神戸 壽 氏

休憩

第2部：高校と大学の意見交換会

1) 話題提供：加盟校より選抜に関する事例紹介 (3校・各回10分)

- ・神戸大学 学術研究員・名誉教授 蛭名 邦禎 先生
- ・関西学院大学 入学センター 課長補佐 綾部 有 氏
- ・神戸親和大学 アドミッションセンター課長代行 中井 一誠 氏

2) 小グループでの意見交換会 (30分)

7. 内容詳細

■第1部：基調講演「明日への挑戦」

兵庫県西脇市にある地元企業「株式会社 Brain」神戸社長を講師に、人材育成・キャリア形成の観点から高校生の探究学習の魅力や、高校や大学教育に期待することを企業人の立場から講話いただいた。画像認識・AI・業務システムの研究・開発を行う同社では、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の兵庫県立小野高等学校の探究学習の授業において、講義、プログラミング講師、プレゼンの基本、外部講師の紹介等を行っている。講演では、具体的な事例に加えて指導経験から、「生徒の自主性を尊重と放任」の違い、探究の科目については、「生徒の興味のわくテーマ設定が必要である」との見解も述べられた。また、「大学入試においてスポーツ推薦入試のように、探究推薦制度があってもよいのではないか」といった提案もあった。

■第2部：高校と大学の意見交換会

「探究学習」における高校生の学びが進路選択や大学進学後の学生生活、その後のキャリア形成に与える影響、高校・大学・企業の連携等について、参加者間で意見交換会を行った。

最初に、今回のテーマである「高大連携と選抜・探究学習」について、大学側の現状を紹介する話題提供として探究学習の成果を入試制度で評価する仕組みを有する3校が、神戸大学「志特別選抜制度」・関西学院大学「探究評価型入学試験」・神戸親和大学「探究入試」に関して、話題提供を行った。

その後、大学と高校の教職員が6~7人の小グループにわかれて、探究活動や選抜の話題を中心に、高大連携・高大接続の実情について、自由闊達な意見交換を行った。

8. 参加者の感想と考察

事後のアンケート結果より、大学教職員からは「大学と高校が同じ方向を向きたいという感じがした」

「高校、大学関係者が一つのテーマを一緒に考える場を持てた。有意義な議論ができた」、「高等学校の現場の先生の探究に対するお話をお聞かせいただいて、大変勉強になった」との回答があり、高校教員

からは「大学の視点から探究について知ることができた」「今一度、探究の意味や生徒の好奇心について見直し、指導のあり方を考えたい」「基調講演はとても興味深く、話題提供では、探究を利用した入試についての情報や大学及び他校の取り組みを知ることができた」といった意見が挙がった。

また、小グループでの対話では、「具体的な内容について意見交換できた。連携の具体的な話ができただけでよかった」

「お互いの視点が見え、非常に参考になった」「意見を出し合って終了したので、もう少し時間が欲しかった」等との声が複数寄せられ、高校と大学教職員間での意見交換が求められていることが窺えた。

今後については、引き続き「引き続き高校、大学関係者が探究や入試にかかる意見、情報交換をする場が持てると良い」「時宜を得たテーマを希望する」といった意見が挙がり、次回以降に向けて、加盟校の実例の共有など、開催テーマを教職員の要望を踏まえて検討する。

(以下、参加者アンケート抜粋)

ひょうご高校大学コンソーシアム 2023 (全体) について

(大学)

- 高等学校の現場の先生の探究に対するお話をお聞かせいただき、大変勉強になった。
- 参加者も多く内容のある会になった。が、意見交換の時間がもう少し確保できればなおよかった。
- 公表資料だけでは分かりにくかった点に対する質疑応答をいただけたためよかった。

(高校)

- 高校の先生方が探究活動に込める思いと、大学の方々が考える探究活動について知ることができた。探究は何が成果として得られるか未知であることや、試行錯誤に意味があり、これをすれば入試に有利だということを大学側が示したい訳では無いことが分かり、今一度、探究の意味や生徒の好奇心について見直し、指導のあり方を考えたいと思った。

基調講演(株式会社 Brain 代表取締役社長 神戸壽氏)について

- 非常に面白い話でした。高校生向けの探究活動の様子をもっと詳しく見てみたいと思った。
- 探究に関する提言もあったためよかった。
- 今社会が求めている人材について考察することができた。
- 探究活動を担当する教員に必要なことについて、「生徒の発想を援助する」ということに感銘した。
- チャレンジすることの大切さ、事業を進める上での苦労、人との出会いの大切さなどがとても興味深かった。
- 大変興味深いお話で、引き込まれました。本校の生徒にも聞かせたいと思った。
- 高い視点で指導するべきだということに気づかされた。

質疑応答・意見交換会について

(大学)

- 高校、大学の双方の考えや課題があることがわかることができた。現場の生の声がやはり、皆困惑しているのだと感じた。
- 普通科の探究のことについて理解できた。

(高校)

- 総合型選抜に出願する上での課題や大学側の評価の観点を共有でき、生徒を指導する上で参考となる情報をいただけた。
- 高校はどうしても次の進路に繋がるかどうか探究活動のモチベーションになってしまうが、大学としては、探究は学力の上になり立つものという考えがあり、入試に合格するための探究という概念がないように感じた。入試の評価が不透明というよりは、未知であるからこそ探究が成り立ち、そもそも評価が難しいものであることを痛感した。

【当日の写真】



第1部: 基調講演の様子①(神戸寿氏)



神戸社長からは探究学習についての提言もあった



第2部: 話題提供の様子①(神戸大学)



第2部: 話題提供の様子②(関西学院大学)



第2部: 話題提供の様子③(神戸親和大学)



小グループでの意見交換会の様子①



小グループでの意見交換会の様子②



小グループでの意見交換会の様子③

以上